

2022年度事業計画

(2022年4月1日から2023年3月31日まで)

2022年度は、財団創立40周年となり、その記念事業として従来の研究助成事業の拡大版として特別研究助成を実施し、併せてその贈呈式を記念式典として開催する。なお、記念事業に関わる研究助成事業について、その事業内容についての決定が遅れたため、2022年3月に報告した事業計画から下記のように修正している。なお、この経費については特定費用準備金を充当する。

また、昨年度と同様コロナ禍の影響により財団収入が大きく変動する可能性があり、12月の選考委員会時に2022年度決算見通しにより採択件数を調整することで極力収支相償に適合するよう対応する。

1. 事業

(1) 研究助成事業

科学技術に関する調査・研究及びこれらに対する助成を行う

①次の研究課題に該当する研究を対象とする。

課題A：「植物有用成分およびバイオマス資源の高度利用に関わる研究」

課題B：「エレクトロニクス複合材料および次世代実装に関わる研究」

課題C：「持続可能な社会を実現する有機系新素材およびその機能化に関わる研究」

②年齢制限 45歳以下（原則）とする。

③助成金額 1件あたり100万円～300万円、総額4,000万とし、助成件数は30件前後とする。

助成金額は、研究テーマに対する選考委員からの評価に基づき選考委員会にて決定する。

④推薦受付期間 2022年7月20日から2022年9月30日まで

⑤選考 2022年12月中旬に選考委員会を開催し、審査のうえ選定する。

⑥助成金交付 2023年3月

(2) 国際交流派遣事業

国際研究集会等に出席する出張費の援助を行う。出張目的の対象は上記研究課題と同じ。

①募集および選考 常時申請受付および選考を行う。

②年齢制限 45歳以下（原則）とする。

③援助金額 原則として往復交通費、滞在費の一部を援助する。
総額100万円とする。

なお、コロナ禍の影響で応募が無い場合には、当事業の資金は研究助成資金として使用する。

(3) 出版広報関係

助成研究の成果を収録する研究報告集第34集（2019年度助成研究）の発行。

(4) 40周年記念事業

1) 記念式典

式次第等の内容については今後調整します。

2) 研究助成事業にて受益の拡大を行う。

3) 40周年記念冊子の作成（従来の財団案内を含む）

4) 財団PR

財団事業について日刊紙等でその実績をPRするとともに最近減少傾向にある研究助成への応募者を募る。

以上